

「戦争法案」審議入り強行



戦争法案審議入り抗議！
5.26国会前緊急行動
900人が参加

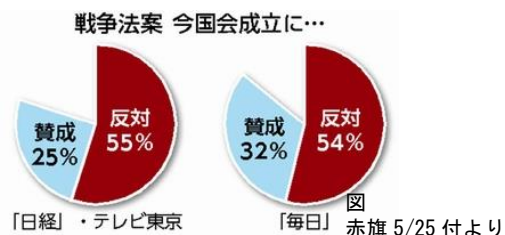
戦争法案は、26日の衆院本会議で趣旨説明と各党の質疑が行われ、審議入りしました。衆議院第二議員会館前では12時から「戦争法案審議入りに

抗議する5.26国会前行動」(主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会)が行われました。緊急の行動でしたが、900人が集まり、「戦争法案反対！」と抗議の声をあげました。



今国会成立反対 日経 55%、毎日 54%、朝日 60%

各紙が世論調査を行い、戦争法案の今国会での成立「反対」が「賛成」を大きく上回っています。(日経・テレビ東京 5/22~24、毎日 5/23~24) また、日経新聞(5/25付)は「集団的自衛権行使に関する法案成立には反対が増えつつある」と述べています。朝日新聞の世論調査(5/16~17)では、戦争法案の今国会成立について「必要ない」が60%でした。



各地で次々広がる「戦争法案」反対のとりくみ

埼玉弁護士会 「憲法と人権を考える市民のつどい」

埼玉弁護士会は21日、「憲法と人権を考える市民のつどい」を開きました。イラク支援のボランティア活動をする高遠菜穂子さんが講演し、イラクなどで過激組織ISが勢力を増す背景に、米軍やイラク政府の「対テロ作戦」によって身内や友人を殺害された多くの人々の恨みがあると指摘。日本では紛争地域の現状を知らされない「情報鎖国」の状態では集団的自衛権の議論がされていると批判し、「『戦争する国づくり』を止める国づくりを」と呼びかけました。パネルディスカッションでは、高遠さんと日本国際ボランティアセンター事務局長の長谷部貴俊さん、元内閣官房副長官補の柳沢協二さんの3人が討論しました。

各地の弁護士会「新ガイドライン改定反対」「戦争法案撤回」の会長声明発表

集団的自衛権の行使容認の閣議決定に抗議し、安保法制関連法案の改定に反対する埼玉弁護士会の会長談話が、2014年7月、今年3月、5月と出されています。15日には横浜弁護士会が、19日には第二東京弁護士会や和歌山弁護士会が会長声明を発表。横浜弁護士会は6月10日に「自衛隊はどこへ何をしに行くのか」と題したシンポジウムを計画しています。(しんぶん赤旗 5/25付より抜粋)